



蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 49

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚

山本郵便局
昭和40(1965)年以前
山本町

山本の郵便事業は、明治4(1871)年に神田郵便取扱所が設けられたことに始まる。山本郵便局の起源は明治8(1875)年に開設した辻村郵便局で、明治39(1906)年に山本郵便局と改称した。写真は明治45(1912)年から昭和40(1965)年まで、現在の山本中央通り沿いにあった山本郵便局。

※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。【文書館 ☎63・1010】

「想い出の1ページ」

「私が郵便局での仕事を始めたのが21歳。そのとき働いていたのが、この山本郵便局です」
山本町の大橋良男さんは、勤務していた当時の記憶をゆっくりと辿り始めます。

「このころは、どこの郵便局もこんなふう立派な建物でした。中に入ると、出入口近くにソファがあって、趣のある電球、重厚な造りのカウンターは当時としては高価な物だったと思います。2階には電話交換室もありました。職員は、交換手を含めて30数人が働いていたでしょう。郵便配達・貯金・保険の業務があり、私は配達を担当していました。郵便物は現在よりかなり少なく、局全体で1日800〜1,000通くらいだったでしょう。それを配達員はみんな、赤い自転車に乗って配っていたんです。当時は配達区域も広くて、一番遠いところでは大野原町丸井や粟井町の辺りまで届けに行く先輩もいました」
大橋さんは郵便配達のほかに、夜の宿直にも当たることがあったと言います。
「宿直では夜警や電報の対応をしました。深夜の電報配達は、

困ることも多かったですよ。どこから家に入れば良いのかわからなかったり、犬に追いかけられたり。厳しい仕事もありましたが、お客さんから「ありがとう」と言葉をかけてもらうとうれしかったですね」
この山本郵便局には、大橋さんの郵便局員人生の出発点となった思い出が詰まっていました。

広報11月号みとよ写真帳の記事にて、「三豊中央病院は、永康病院よりも早くに開業」と紹介しましたが、正しくは永康病院が先に開業していました。ここに訂正してお詫び申し上げます。



編集 後記
利用者として感じる、二升五しさと真剣な時間が入り交ざった場所です。どちらのイベントに参加しても、楽しい時間を過ごしながら、刺激をもらえる人に出会えます。新しい出会いが欲しい人、自分と向き合いたい人におすすめしたいですね。